

Weekly コラム

令和 4 年 5 月 10 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

十三まいり

十三まいりとは、数え年で13歳になる男女が虚空蔵菩薩(こくうぞうぼさつ)を参拝する通過儀礼です。4月13日(旧暦の3月13日)を中心に、3月13日～5月13日に行われています。十三まいりの正式な服装は、男の子は羽織袴、女の子は振袖ですが、今はスーツやワンピース、制服でおまいりをする人も多くいます。

数え年とは、生まれた日を1歳として、以降1月1日が来るたびに年を取るというもの。数え年で13歳は、干支がひと回りして、初めて年男・年女になる年であり、初めての厄年でもあります。そこで、この歳に厄払いをして無病息災を祈ると同時に、ここまで成長したことを祝い、感謝を捧げるようになりました。昔は元服をして大人の仲間入りをする年頃でもあり、成人式のような意味合いもあったようです。また、十三まいりの別名は「知恵詣」や「知恵もらい」。虚空蔵菩薩は知恵や福德を司るため、十三まいりで大人として必要な知識を授かるとも言われています。

十三まいりの由来は諸説ありますが、平安時代のはじめに幼くして帝位に就いた清和天皇が、数え年13歳になったときに京都嵯峨の法輪寺で成人の証として勅願法要を行ったのが始まりという説が有力です。

そのため、京都府嵐山の法輪寺には、シーズンになると大勢の人が訪れます。参拝時に好きな漢字一文字を半紙に毛筆で書いて奉納し、ご祈祷をしてもらうことで知恵を授かれるという事です。

ここでは一つ厳しい決まりがあります。参詣の帰路、本堂を出た後に長い石段を降り切った鳥居をくぐるまで、または渡月橋を渡り終わるまでは周囲の誘いに動じず後ろを振り向いてはならないのです。もし、振り返ってしまうとせっかく授かった智慧を返さなければならないそうです。見るなど禁止されると、余計に見たいという欲求が強くなり、これを心理学では「カリギュラ効果」と呼ぶのですが、誘惑の強い「振り返るな！」という掟を守らせることで、子供の時期を卒業し、社会規範を守る大人の一人となる準備を促すということなのかもしれません。

京都の法輪寺を中心とした関西圏では、十三まいりは七五三と並んで大切にされてきた習慣ですが、知らないという方も多いのではないのでしょうか。しかしながら、近年、他の地域にもじわりと広まってきています。いずれは関西から全国に広まった「恵方巻き」のように全国区になるかもしれませんね。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。